

# 立教大生と市民が多彩な事業で交流

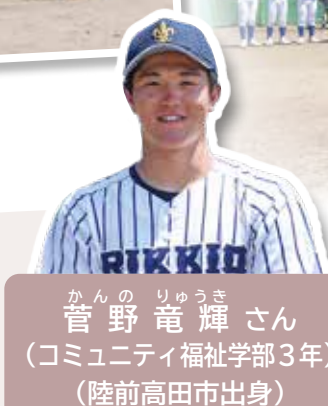
## 立教野球教室 in 陸前高田



本年も立教大学の野球部の皆さんが本市の中学生向けに野球教室を開催しました。

本年度13回目となる本教室は、8月6日(木)に楽天イーグルス奇跡の一本松球場で開催され、市内両中学校の野球部39人が参加しました。

教室では、大学生からのアドバースや声掛けを受けながら、打撃や守備などの練習を行いました。練習の後は、大学生がバッティングや守備などを披露し、レベルの高いプレーに中学生は目を輝かせながら歓声をあげていました。



かのりゅうき  
菅野竜輝さん  
(コミュニティ福祉学部3年)  
(陸前高田市出身)

地元の中学生に教えるのは言語化やコミュニケーションの難しさもありましたが、一緒に楽しく野球ができました。堅苦しくならないよう会話も取り入れ、まずは楽しくやってもらうことが1番です。

春のリーグ戦で目指していた神宮デビューを果たし、大学で自分の投球に自信ができました。最大の武器である最速155キロの直球を生かし、秋のリーグ戦は防御率0点で終わりたいです。将来の目標はドラフト1位でプロに入り、その後しっかり活躍することです。

離れていても応援してくれる地元の皆さんのためにも、プロのマウンドに立ち、プレーで恩返しができるよう頑張ります。



すずき ひりゅう  
鈴木鳳龍さん  
(高田一中2年)

立教大学の野球部の皆さんはみんな元気にスムーズにミスなく練習に取り組んでいた。キャプテンとしてチームを引っ張るように今後の練習に取り組んでいきたい。

## 立教大生



地域の子どもたちを楽しんでもらえたことが何よりの成果。初開催ということもあり、改善点などもいくつか認識できたので、来年以降はさらにより良いプログラムとなるように展開したい。



さいとう けんすけ  
斎藤健介さん  
(社会学部3年)

初めての体験が多くて、とても勉強になった。また大学生のお兄さんお姉さんと一緒にキャンプを楽しみたい。



むらかみ せいや  
村上晴哉さん  
(広田小3年)



8月24日(月)から28日(金)にかけて、8人の大学生が生産地区内の「立教の森」などで林業体験に参加。

学生たちは、いわて森の達人佐藤隆雄さんや生田地区の皆さんなどから間伐作業や下刈りなどについて指導を受けながら、集中して作業に取り組みました。

また、26日(水)には、学生たちが市役所を訪れ、第20回の林業体験を記念して製作した、チェーンソーアート「のくろう像」を市へ寄贈しました。

## 立教大学第21回林業体験

初めての伐採作業は細い木でも大変だったが、森林組合の方々の丁寧な指導がありがたかった。また、林業が森林保全にも必要だと学んだ。これからもこの大切な仕事が続いてほしい。



かとう あい  
加藤葵さん  
(法学部2年)

地域の皆さんに見守っていただいたおかげで、安心して作業に取り組めた。皆さんが自然に丁寧に向き合う姿勢を実感し、林業の大切さを再確認した。



とだか よしはる  
戸高由晴さん  
(観光学部3年)

## 立教ローバース

Summer Camp in Rikuzentakata NONO

立教大学のボーイスカウト団体「立教ローバース」が企画運営する本イベントは、8月18日(火)に開催され、市内の小学生21人と大学生14人が参加しました。

本イベントは、同団体に所属する学生から「陸前高田市の持つ豊かな自然と文化のフィールドを生かして、地域の枠を超えた子どもたちと大学生の触れ合い行事を行いたい」との申し出があり、初めて開催されました。

当日は天候にも恵まれ、陸前高田ワタミオーガニックランドで、テントの設営体験やアウトドアギアを使ったカレー作り体験を行ったほか、立教大学陸前高田サテライトや旧吉田家住宅主屋などを巡る宝探しオリエンタリングなどを行い、賑やかに交流を深めました。